



広報 毎月1日発行

きゃんせ

長浜



ほくほくの焼きいもをガブツ

Contents

■特集「食」を考える	2～5 P
■災害時要援護者支援制度	6・7 P
■文化の日 表彰に輝く人々	8・9 P
■国民年金、税	9 P
■まちの話題、ぴーぶる(沢田美紀さん)	10・11 P
■市町合併、新規就農、宅地分譲	12 P
■お元気ですか(眼科のロービジョン外来)	13 P
■青少年育成、児童虐待防止	14 P
■人権クロスワード	15 P
■パソコン講習、かえる講座、新成人の集い	16 P
■長浜芸術文化祭行事、ピバブラジル	17 P
■インフォメーション	18・19 P
■裏表紙 近江孤蓬庵の紅葉	20 P

今月の表紙

秋晴れの中、びわ保育園の祖父母参観で行われた「焼きいもパーティ」。

園児たちは、おじいさんやおばあさんと一緒に約200個のさつまいもを新聞紙に包んだ後、アルミホイルをまいたり、それらを石の上に並べてわらをかぶせたりしながら、できあがるのを待ちました。

待つこと約1時間。素材の味が生きたホクホクの焼きいもができあがり、園児たちは「おいしい、おいしい」と言って残さず食べていました。

焼きいもパーティで使われたさつまいもは、園児が保育園の近くの畑で事前に収穫した地元のもの。

食の安全が大きな問題となってきた今日。このように地元でとれたものを、自分で料理して、おいしく食べられるような環境がいつまでも続くといいですね。

特集 「食」を考える

伊吹山系の山々を源とする姉川や草野川などの豊かな水の恵みと干拓や開墾など先人のたゆまぬ努力によって築かれた長浜の耕地。その豊かで広大な耕地では、稲作を中心に小麦や大豆、路地野菜などが生産されてきました。さらには、その肥沃な土地から生み出される地場産物を活かした郷土料理や加工品も数多く作られ、独自の食文化が発達してきました。

今、世の中では食の安全が大きな問題となっていますが、市内では、安全で安心な食材をつくり、届けるため、そしておいしく食べってもらうために、多くの人がさまざまな取り組みを行われています。



《つくる》

子どもたちの未来のため 安全で安心な食の土台を

近年、消費者は少し高くても安全で安心して食べられるものを選ぶ傾向が強まってきており、低農薬・有機肥料で栽培された安全で安心な環境こだわり農産物などを購入する動きが強く見られるようになってきました。

このような消費者の声を受け、環境こだわり農産物の生産に取り組んだ個人やグループなどの市内の農業者。より安全・安心な農産物を消費者に届けようと環境こだわり農産物への取り組みが市内全体に広がっています。

市内で生産されている環境こだわり農産物のほとんどが水稲で、全体の約98パーセント。その他は路地野菜や果樹。

市内の水稲の作付面積は平成19年で約2687ヘクタール。そのうち、環境こだわり米の作付面積は約910ヘクタールと、市全体の33.9%で取り組まれています。



前田和宏さん
(上八木町)

子どもたちに田んぼや農業に 関心を持ってもらいたい

前田さんは、米国での農業研修から帰国した平成元年から米作りを始め、地域農業の担い手として活躍されてきた方です。現在では、農地面積を40ヘクタールまで拡大し、家族で安定した経営を行われています。

また、その間、環境保全型農業の推進や、地元JAの営農指導員と地域の若手農業者のよき相談相手として、地域農業の発展に努められてきたことが評価され、この度、2008年度(第47回)農林水産祭で日本農林漁業振興会会長賞を受賞されることとなりました。

前田さんは現在、約30ヘクタールの水稲を作付けし、そのうち、約半分は14ヘクタールで環境こだわり米を栽培されています。前田さんが環境こだわり米をつくり始められたのは、今から7年前の平成13年。「県の制度がスタートした時、より安全で安心して食べられる米を作るためには農薬を減らした方がいい」というごく当たり前の思いがきっかけだそうです。



▲ゆりかご米の田んぼで育ったフナを捕まえている子どもたち

その後は、より多くの人に農業や田んぼのことに関心を持ってもらえるようにと「ゆりかご米」の作付けも始められました。「ゆりかご米」とは、魚が育った環境(田んぼ)でつくった米のことです。子どもたちと一緒に田んぼにフナを放流するなど、毎年0.5ヘクタールほどの水田で取り組みを続けられています。

「わたしたち生産者は少しでも安全で安心して食べられる米を生産しようと努力しています。でも本当に必要な取り組みは、その米ががつくれる環境を守り続けていくことなんです。そのためには、生産者だけでなく、より多くの人、特に子どもたちに田んぼや農業に関心を持ってもらうことが大切だと考えています。ゆりかご米の取り組みはその第一歩なんです」と前田さん。食の安全・安心の将来を見据えた思いが伝わってきます。

地場産物の魅力を伝え 食の循環する地域に

「神照興友会」は、レーク伊吹農協発足時、旧神照農協管内の営農関係の部会が一つになり、地域農業の推進のため、さまざまな活動をされている団体です。毎年、新たな取り組みを考え、実践されています。今年も地産地消を進めるため、転作田などを使い、学校給食で使うジャガイモの栽培を行なわれました。

会長の廣部重嗣さんは「子どもにも地場産物の安全でおいしいものを食べてもらいたい、その良さを知ってもらいたい。さらに、こういった取り組みを行うことで、家庭や地域で地場産物に関心を持つ人が増え、地域内でより多くの地場産物が循環すればいいですね」と食の安全・安心を確保するためには、「食の循環する地域づくり」が必要なのではと話されています。



▲地元で生産したじゃがいもをはじめて給食センターへ出荷する廣部さんたち

《つなぐ》

鮮度とともに 生産者の思いも消費者に

長浜地方卸売市場は、湖北地域の約17万人を対象に行政と民間との共同出資による県内初の第3セクター市場として、平成2年5月にオープン。以来、施設の増築等を行いながら、湖北地域のみなさんの食生活を支えるため、常に鮮度の高い生鮮食料品や地場産野菜等を提供されています。

一方、近年では、こんせ朝市やきやんせ土曜市を開催するなど、生産者と消費者をつなぐ機会もつくられています。また、野菜の収穫体験や地元の食材を使った料理教室を開催し、消費者のみなさんに地元の食材の良さを知っていただく取組も行なわれています。



▲夏休み親子市場見学会で「地場野菜のセリ」を見学しているところ



▲2年前に作られたマグロ用の低温売場

現在、市場で取り扱っている地場産野菜は、市場全体から見れば数パーセントだそうです。か、地産地消の推進を図るため、青果卸売会社が（有）浜果未来農園を設立し、地元産の野菜などのこだわり農産物の生産を始められています。

長浜地方卸売市場の川崎さんは「安全で安心なものを消費者のみなさんに届けるためのポイント」は鮮度。マグロの低温売場を作ったのもそのためですが、今後は鮮度とともに生産者の安全・安心に対する思いも消費者に届けることが大切だと思っています。そのためにも多くの人に市場のことを知っていただき、市場が拠点となって、生産者、小売店、料理飲食店と消費者の交流やつながりができるように取り組みをしていきたい」と話されています。

《たべる》

健康にかかわる食育

食べ物とはわたしたちにとって大切なもの。普段何気なく購入し口にしてはいますが、国内で生産されたものや国外からの輸入品、原料を輸入して国内で加工するものなど、さまざまな食品が消費されています。

こうした食を取り巻く環境の中、近年は一人一人が健康や生涯を通じた健全な食生活の実現、地域の食文化の継承などに向けて自らの食について考える習慣、食に関する知識、食を選択する判断力、これらを身に付けていくと「食育」への取り組みが始まっています。

地場産物を学校給食に

現在、市内の小・中学校の給食は、市内の3つの給食センター（長浜・浅井・びわ）で調理しています。給食で使う食材は、市場等を中心に購入していますが、事前に登録をされた団体や個人の方からも購入し、献立に活かしています。その際には、数量や規格、時期について事前に生産者と給食センター等で話し合い、できる限り一番おいしい時期、旬に地場産物を使う工夫もしています。

また、県の地場産物使用状況調査によると、昨年11.3%だった

比率が、今年は、19.3%となり、地場産物の使用が増えていることが数字の上でもわかります。

ランチメッセージで地域への 愛着と食の大切さを伝える

給食センターでは食育活動の一つとして、昼の校内放送を利用して、「ランチメッセージ」を流しています。ランチメッセージは、給食に使用した食材の生産地や生産者などを紹介するとともに、食材が持っている栄養分や効果などをくわしくお知らせするものです。そのほか、スクール農園等での作物栽培を通じて生産の大変さや食べ物のありがたさを伝えたり、子どもたちだけでなく親にも食への関心を高めてもらうために親子料理教室を開催したりしながら、食の大切さを伝える教育を実践しています。しかし、最近、朝食を食べない子どもが増えるなど、なかなか「食の大切さ」が理解されない状況も見受けられます。そのような中、栄養教諭の青柳さんと学校栄養職員の小財さんは、「今後も学校や家庭はもちろん、子どもたちのためにとの思いを持って給食の食材をつくらせていただいている人やボランティアで食育活動をされている人とともに、少しずつですが着実に地産地消や食育を進めていきたい」と語ってくれました。

また、新鮮な地場産物や特産品が気軽に購入できる場所として、市内各地に農産物直売所などが多数あります。こうした直売所などでは、地元産の農業者が生産した米、野菜、果物加工品などをそれぞれが創意工夫しながら、生産者の真心を消費者の元に届けています。



▲南浜観光ぶどう園でぶどう狩りをする家族連れ

消費者の笑顔と声を生産者に

湖岸道路沿いにある「産直びわみずべの里」（南浜町）は、平成11年のオープン以来、地元産米や野菜、琵琶湖でとれる魚や加工品などを販売し、多くの人でにぎわっています。夏には近くに南浜観光ぶどう園があることから、新鮮なぶどうを求めて、多くの人が訪れています。



▲地場産野菜などを買い求めるお客さんでにぎわう産直びわみずべの里

一方、国道365号線沿いにある「浅井ふれあい」の里・プラザふくらの森（内保町）では、特産品としてカボチャを原料にした焼酎「栗えびす」を販売し、好評を得ています。また、特産品として定着してきた「浅井メロン」も時期になると毎日売り切れてしまうほどの人気で、昨年からハウス栽培を始められ、「秋メロン」として販売されています。



▲おかげ朝市で啓発活動を行っている様子

ボランティアで食育を推進

「食育ながはま元氣っ子の会」は、未来を担う子どもたちに正しい食習慣を身につけてもらいたいとの思いを持った人たちが立ち上げた食育を推進するボランティア団体。会員は、栄養士・調理師・教師・更生保護女性会員・保育士の経験者14人。現在は、サンサンランドで2か月に1回、就学前の親子を対象に手作り紙芝居等で啓発を行ったり、地域のイベントに参加して、地域のみなさんと食育を通じて交流されています。今後の活動について会では、「日本の食文化を見直し「ちゃんと食べよう朝ごはん」や「まずは一汁一菜から三菜へ」をアピールしながら、子どものすこやかな心身の成長を願って、草の根運動として地道に取り組んでいきたい」と熱く語られています。

食への感謝と喜び

普段何げなく口に入っている「食」には、消費者へ「安全・安心」を届けるために、努力を続け生産する人、創意工夫して販売する人などのさまざまな思いや気持ちが含まれています。

だから、わたしたち消費者も、食べることができる喜び、「安全・安心」な食材が食卓に届く、ありがたさなど感謝の気持ちを、常に持っていることが必要ではないでしょうか。

現在市内では、地域の食文化の伝承や地域産業の活性化のために、さまざまな地産地消の取り組みが進められ、いつまでも健康でいきいきと暮らすために、食育の活動が広がりを見せています。

これらの取り組みや活動は、忘れてしまいがちになる食への感謝の気持ちや「食」そのものを見直す良い機会になります。

また、市ではそうした取り組みや活動をより一層推進するとともに、それに伴うさまざまな課題を解決するため、「地産地消推進計画」の策定を始めています。

わたしたち人間にとって一番大切なのは「健康」。その裏側には必ず「食」があります。明日の朝、食事をしながら、もう一度「食の大切さ」を考えてみてはいかがでしょうか。

万が一の時、一人で避難することに
不安を感じる人は、ぜひ登録を！
日ごろの見守りと災害時の避難支援に役立ってます。



登録の対象となる人

- ▶ 災害発生時に避難情報の入手が困難な人
 - ▶ 避難の判断や避難行動を自らおこなうことが困難な人
 - ▶ 災害時の情報伝達に配慮が必要な人
- など、家族の支援が困難なため、災害時に周囲の人の助けが必要な人です。

登録はどうやってするの？

登録申請書と個人情報共有に関する同意書を市役所（福祉課、高齢福祉介護課、健康推進課、各支所市民福祉課）または社会福祉協議会（各支所含む）に提出をお願いします。

- ▶特に支援が必要と思われる人には、あらかじめ市から本制度の案内および申請書・同意書を送付させていただきます。
- ▶上記以外の方で登録を希望される人は、申請書・同意書を送付しますので、福祉課（☎⑥6519・FAX⑥1767）へご連絡ください。

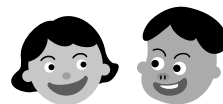
個人情報取り扱いについて

- ▶この制度では、登録者の支援に必要な情報を、市、社会福祉協議会、自治会長、避難支援者、民生委員が共有させていただきます。登録者のみなさまには、登録にあたって情報の共有について同意を得ることを前提にしています。
- ▶情報の共有または情報を開示する際には、この情報を「避難支援・見守り支えあい制度」以外の目的に使用しないことおよび個人情報保護の遵守について、共有者・開示者に誓約をしていただきます。

見守り支援者、避難支援者などについて

登録者の支援については、責任を課すものでなく、善意による地域活動をおこなっていただきたいと思います。

- ▶ 日ごろから登録者の見守りをお願いします。
- ▶ 避難訓練等の機会を利用し、登録者への情報伝達や避難など、支援体制の確認をお願いします。

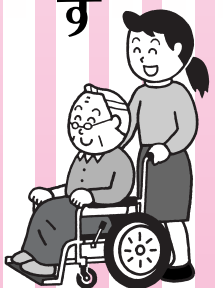


- ▶ お問合せ先 ◀
福祉課
市役所東別館 1 階
(八幡東町632番地)
TEL65-6519
FAX64-1767

く地域で支える 避難支援と日ごろの見守りく

「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」

をはじめます



災害の教訓

近年、全国的に風水害などの災害が多発し、多くの人が犠牲になっています。なかでも避難に時間がかかる高齢者などの被災が多いことから、あらかじめ、「高齢者」や「しやうがいのある人」への災害情報の伝達体制を整え、災害発生時に円滑かつ迅速に避難するための支援体制を整えておくことが重要です。

このようなことから、国の「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」および「長浜市地域防災計画」に基づき、災害時における要援護者の避難誘導等の支援と日常的な見守り活動を地域において行えるよう、「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」を創設しました。

避難支援・見守り支えあい制度とは？

『ひとり暮らしの高齢者』や『重いしょうがいのある人』など、日常生活に手助けが必要な人や、避難にあたって支援が必要となる人を、あらかじめ把握（登録）し、災害時などの避難支援を円滑におこなえるよう、地域における日ごろからの見守り体制を整備するものです。

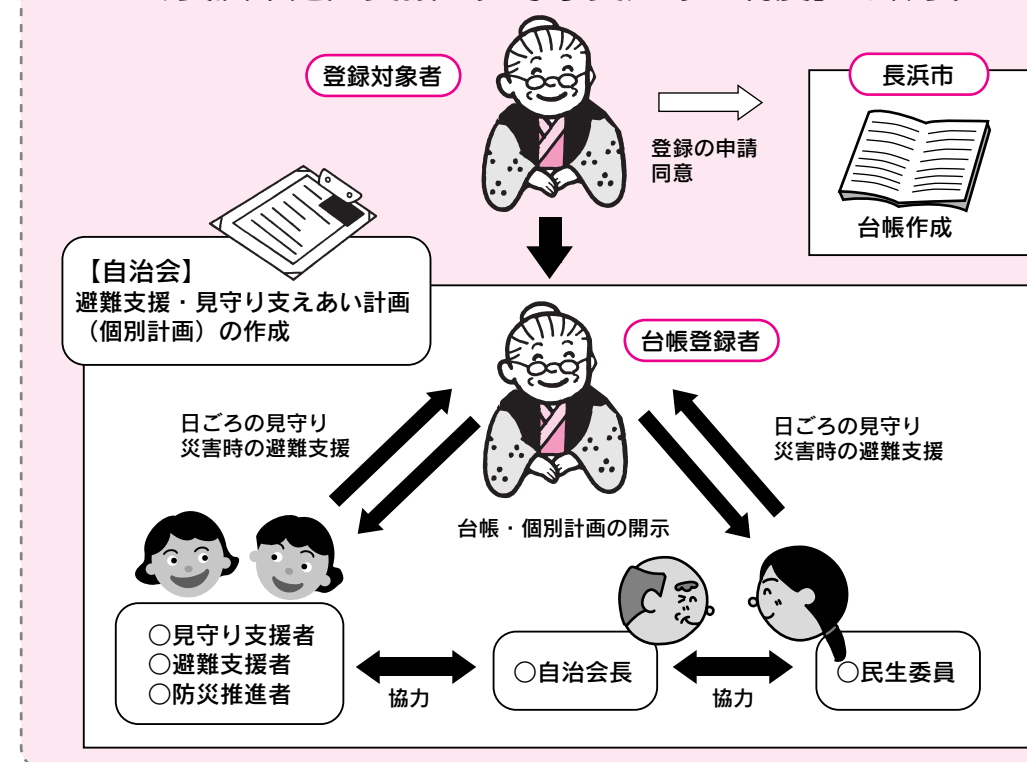
「地震が起きたら、洪水で浸水したら……」

「動けなくなったら、誰に助けると言えばいいの……」

などの不安をなくし、安心して暮らしていくための制度です。

この制度を通して、支援が必要な人と支援をする人を結びつけ、地域住民がお互いに支え、助け合う地域づくりを目指します。

「長浜市避難支援・見守り支えあい制度」の概要



文化の日

表彰に輝く人たち

11月3日の「文化の日」に、市政に貢献された次のみなさんが表彰されます。(敬称略)

◆選挙管理委員会委員として選挙の適正な管理執行に寄与

川崎 隆嗣 (祇園町)
木村 又一郎 (八木浜町)

◆固定資産評価審査委員会委員として税務行政の推進に寄与

本城 善男 (南高田町)
桐山 郁雄 (彦根市)

◆個人情報保護審査会長として適正な個人情報保護の保護に寄与

南川 諦弘 (近江八幡市)

◆情報公開審査会委員として適正な情報公開に寄与

中谷 眞三代 (彦根市)

◆民生委員児童委員として地域福祉の向上に寄与

樋口 すみ子 (宮前町)

◆保護司として明るい地域社会づくりに寄与

水谷 智海 (西野町)
中川 徳郎 (高田町)

◆自治会長として自治行政の推進に寄与

佐藤 増成 (神前町)
片山 久兄 (大宮町)
入江 康雄 (南呉服町)
下村 定 (公園町)
野田 稔 (元浜町)
藤居 昭 (朝日町)
太田 輝明 (四ツ塚町)
西川 好夫 (大東町)
中居 康幸 (池奥町)
片桐 光昭 (須賀谷町)
五味 繁道 (醍醐町)
山崎 行雄 (大門町)

◆消防団員として自治消防の責務に精励

中村 好彰 (三ツ矢町)
藤田 與史雄 (相撲町)
高橋 清隆 (国友町)
池野 次男 (布勢町)
山口 竹志 (堀部町)
滝本 宣昭 (南呉服町)
神田 隆 (十里町)
中嶋 秀行 (大辰巳町)
富田 聡 (今川町)
小川 典孝 (今川町)

◆姉妹都市交流の推進に寄与

ライナー イールスベルガー
(アウグスブルク市)
原 修子 (アウグスブルク市)

◆環境美化の推進に寄与

西邑 孝太郎 (錦織町)

◆保健衛生の向上発展と市民の健康増進に寄与

中川 雅博 (曾根町)
岡野 克也 (元浜町)

◆健康推進員として市民の健康づくりの推進に寄与

岡田 悦子 (中山町)
松宮 敏子 (相撲町)
草野 和子 (鍛冶屋町)
川崎 外志代 (泉町)
多賀 千恵子 (野村町)
北村 由子 (布勢町)

◆この道ひとすじ

中川 安治 (朝日町)
東野 幸平 (宮前町)
前田 義隆 (上八木町)
西村 英雄 (太田町)

◆生涯学習の推進に寄与

角川 正浩 (今川町)
大野 稔喜 (東上坂町)

◆青少年の健全育成に寄与

住吉 芳子 (七条町)

◆文化芸術活動の振興に寄与

藤居 利夫 (朝日町)

◆市民スポーツの振興に寄与

古山 仁 (公園町)
広瀬 由香利 (祇園町)

◆学校保健の推進に寄与

城山 淳一 (三田町)
澤田 泉 (祇園町)
松岡 俊樹 (寺田町)

感謝状

◆長浜盆梅展に希少品種の梅を寄贈

梅田 操 (静岡市)

◆長浜城歴史博物館に石田三成判物を寄贈

今井 紘一 (守山市)

◆長浜城歴史博物館に吉田茂氏収集資料を寄贈

故吉田茂氏 代表相続人
山本孝子 (京都市)

◆長浜城歴史博物館に掛軸・屏風・民具を寄贈

藤居 藤兵 (加田今町)

◆市の緑化推進事業に多額の金員を寄付

長浜東ロータリークラブ (港町)

◆長浜小学校にグランドピアノを寄贈

長浜小学校後援会
長浜小学校PTA (高田町)

この道ひとすじ

伝統工芸・特殊生糸製造

西村 英雄さん (太田町)



55年にわたり生糸製造に従事。邦楽器琴・三味線などの弦などの特殊生糸の製造技術は特筆すべきもので、その技術は国の選定保存技術に認定されています。

「昔は500軒くらいの家で糸を引いていましたが、今では1軒だけ。この技術を継承するために、息子だけでなく孫にも糸引きを教えています。5年前に桑畑を作り、養蚕飼育の研究を始めました。この桑畑で育った蚕から上繭を生産し、伝統の特殊生糸の製造を続けていきたいですね。」

大工

東野 幸平さん (宮前町)



在来工法による木造住宅建築ひとすじに57年間精励。長浜建築組合副組合長・組合長を歴任され、業界の発展や若年後継者への技術伝承に貢献されてきました。

「父の影響でこの道に入りましたが、誇りを持って仕事をしてきたことが長く続けてこられた理由です。精魂込めて建てた家はそれぞれが自分の子どもみたいなもの。今後も、在来工法技術を次の世代に継承しながら、今まで建ててきた家をしっかり見守っていききたいと思います。」

大工

前田 義隆さん (上八木町)



在来工法による木造住宅建築ひとすじに61年間精励。びわ商工会理事を18年間つとめるなど、業種を越えた地域事業者の活性化のために活躍されてきました。

「とにかく丁寧に仕事をすることを心掛けてやってきました。根気のいる仕事ですが、できあがった時に、お客様からお前に任せてよかったと言われるとすべての苦労が報われます。19歳の時に建てた家を見るといつも初心に戻れます。今後、一つひとつの仕事を大切にしていきたいですね。」

和菓子職人

中川 安治さん (朝日町)



和菓子をつくり続けて45年。老舗和菓子店伝統の味を継承しつつ、常に新しい味覚を追及。市内製造者の第一人者として、地域食文化の発展に寄与されてきました。

「長く続けてこられたのは、お客様が盛りあげてくれたおかげです。店のことを気かけ、商品に対する意見を気兼ねすることなく話をしていただけです。本当にありがたいですね。これからも伝統の味を守りつつ、長い間愛される新しい商品づくりに挑戦していきたいと思っています。」

年金 — 「国民年金保険料控除証明書」は大切に！ —

年末調整や確定申告の際、国民年金保険料を社会保険料として申告する場合は、「国民年金保険料控除証明書」または「領収証書」を添付することが義務付けられています。本年1月～9月までに国民年金保険料を納付された人には11月上旬に発送する予定です。大切に保管してください。☎彦根社会保険事務所(☎0749-23-1114)

■1日社会保険事務所(事前予約制)

11月27日(木)・12月18日(木)に長浜社会福祉協議会で。

☎予約専用電話☎0749-23-5489

■年金加入記録に関する相談会(事前予約不要)

11月14日(金)の9時30分～16時からびわ公民館で。

持ち物：事前に送付されたねんきん特別便の封入物、年金番号のわかるもの、職歴メモ、認印

☎滋賀社会保険事務局☎077-510-5504

税務署からのお知らせ

税務署の電話(☎☎6144)は、11月4日(火)から「自動音声案内」になります。音声案内に従って**1**(一般的な相談)または**2**(税務署にご用の方)を選択してください。来署によるご相談を希望される人は、**2**を選択して事前のご予約をお願いします。

源泉徴収義務者のみなさまへ —平成20年分年末調整説明会—

【とき】11月19日(水)10～12時

【ところ】長浜文化芸術会館

☎長浜税務署法人課税第一部門
(☎☎26192)

ぴる



びわこ成蹊スポーツ大学4年
沢田美紀さん(南浜町)
国体で3位に輝く!

10月6日に大分県で行われた国民体育大会の女子1万メートル競歩の部で、南浜町の沢田美紀さんが3位に入賞されました。小学校ではバスケットボール、中学校ではソフトテニスで、沢田さんが本格的に陸上を始められたのは高校に入ってから。高校入学時は、長距離をメインに練習をしてこられ、競歩に転向されたのは高校2年の夏からと、競技経験が浅いにも関わらず獲得された栄冠です。

「競歩に転向してから、ドンドン記録が伸び、この競技が自分に合っていると感じました。競歩は、肉体的にも精神的にも辛い、我慢の競技です。昨年の全日本インカレでは、そのままいけば3位入賞という中、ラスト3週のところで失格になったこともありましたが。その時の悔しさをバネにして練習してきたことが今回の成績につながったと思います。」

沢田さんにとって競歩とは

「自分が人間として成長するのに必要なもの。周りの支えがあるから競技に没頭できています。良い成績を取めると支えてくれた人たちの笑顔が見れてうれしいですね。」

今後の目標を教えてください

「来年、学生のためのオリンピックといわれているユニバーシアードがセルビアで開かれるのですが、その選考会となる日本学生競歩大会が3月にあります。そこで上位に入賞して日本代表の座を獲得したいですね。その先の目標はロンドンオリンピック出場です。」

多い日は30キロもトレーニングされているという沢田さん。がんばってください。



洋画「秤とかぼちゃ」
中川 紀美子さん(泉町)



彫刻「torso」
田中 亮次さん(南高田町)



札場 書「漢詩句」
明子さん(南小足町)



写真「炎の祭典」
岩井 文雄さん(神前町)



日本画「山門」
田中 栄治さん(南小足町)



工芸「雲の上」
田川 泰子さん(木之本町)



鮮やかな菊花が会場を彩る

大通寺(元浜町)※写真と安楽寺(細江町)で菊の展覧会が開催中。赤・白・黄色の大輪が来場者の心を和ませています。秋の一日、色とりどりの花と香りを楽しみに行かれてはいかがでしょうか。▼第57回湖北長浜菊花展(大通寺)：11月15日(土)まで。▼第17回菊まつり(安楽寺)：11月3日(祝)まで。



火縄銃大会



豊公まつり



アートインナガハマ



きもの大園遊会

華やいた長浜の秋

秋を彩る長浜出世まつりが、今年も盛大に開催されました。地元からはもちろん、県外からの来訪者も多く、たくさんの人出で賑わいました。市内では、11月にも文化芸術、スポーツなどの様々なイベントが開催されます。さわやかな秋晴れの日にはぶらっと出かけてみませんか。



全国のゲートボール仲間がドームで交流

全国から92チーム、580人が参加され、長浜ドームで開催されたスポレク滋賀2008のゲートボール大会。試合中は、チームメートと戦略を練りながら真剣な表情でボールをはじかれていましたが、試合後は出身地や観光の話などに花を咲かせ、楽しそうに交流をされていました。

ほっとにゅーす

このコーナーは、市民のみなさんの活動の様子やまちで見かけたほっとした話題を紹介するページです。あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画調整課 広報広聴グループ(☎6504)までお知らせください。



10/4(土)

手づくりフェスティバル開催

千草町ひと・まち・地域創造会議の主催で、姉川フェスティバルが開催されました。地域内の世代間交流を目的に今年から新たに取り組まれたもので、235人の長寿をみんなでお祝いしたり、保育園児の鼓笛隊演奏や中学生のブラスバンドなど、子どもからお年寄りまでが笑顔で交流されていました。



10/26(日)

地場産の美味しいものみつけた

新たな食のブランドを創造しようと、長浜みらいまちづくり戦略会議が進めるまちづくり事業の一環として、『北近江ブランドマルシェ』が開催されました。会場には北近江で穫れた旬の特産物が大集合したほか、地元の食材を使った料理の試食や創作料理コンテスト等も行われ、大勢の方が訪れていました。

お知らせ

1市6町合併に向けて

9月24日から10月2日にかけて、「市長と語る市民懇談会パートⅢ」を開催しました。6か所で開催した懇談会には、合計で206人の方に参加いただきました。

今回の懇談会では、任意合併協議会で現在までに確認された合併協議項目の説明と、合併後のまちづくりの基本方針となる合併基本計画(原案)について説明を行った後、市民のみなさんと意見を交換させていただきました。

回答 普通交付税の合併算定替をはじめとする支援措置等が適用される「新合併特例法」の期限が、平成22年3月31日までとなっていることや、電算システムの統合・移転に年末年始の閉庁日を充てることなど、合併の期日を平成22年1月1日としたものです。

農業

はじめませんか
—新規就農者等の支援制度—

市では、新しく農業を始める人を応援します。「新規就農者支援事業補助金」を活用して、農業の担い手を目指してみませんか。



を始めるのに必要な経費(研修や生産等に必要経費)
補助率 1/2以内、上限20万円
補助期間 3年間

農業実践研修事業

対象 市内に就農する人を受け入れる認定農業者
対象となる経費 農業の基礎や専門的技術を習得するための研修を実施するのに必要な経費

補助率 1/2以内、上限20万円
補助期間 2年間

お問合せは、農林水産課(☎6522)へ。

住民投票について

ご意見 今回の合併について住民投票をしたかどうか。

回答 日本の政治制度は間接民主主義を基本としていますので、市民の代表である議員のみなさんと十分に議論したうえでご判断を仰ぎたいと考えています。

合併の期日について

ご意見 合併期日を平成22年1月1日で提案した理由は何か。

回答 財政計画の基本目標として、普通交付税の合併算定替の特例措置が失効する平成32年度までに、合併に対する特例的な財政支援に依存しない健全な財政運営を行うこととしています。費目別にみると、類似団体都市(三条市、飯田市、掛川市など)の平均と比べて多い人件費と普通建設事業費、公債費を中心に予算規模の縮減を図ってまいります。

お問合せは、合併推進室(☎6535)へ。

宅地を随時分譲します

長浜市土地開発公社保有の



▲分譲地 公園町(3区画)
面積216.11㎡~246.81㎡
上下水道完備

申込要件 ①住宅建築のため宅地が必要な人 ②宅地分譲代金を一括で支払いができ、当該宅地に住宅を建築するための資金調達ができる人
※申込みは1世帯1区画
受付 11月10日(月)から。分譲内容を記載した案内書(申込書添付)は、市土地開発公社窓口で4日(火)からお渡しするほか、市ホームページからのダウンロードも可能です。

お申込み・お問合せは、長浜市土地開発公社(☎6561)へ。

お元気ですか

“見る”ことでお困りの方へ

—ロービジョン外来をはじめました—

市立長浜病院では、10月からロービジョン外来を行っています。



ロービジョン^{※1}(Low Vision=低視力)外来とは、日常生活において、視覚的に困ったり、不便を感じておられる人が、残っている視機能を最大限に活用し、今よりも良好な生活を送っていただくのを目的として、その方法を患者さんと医師・視能訓練士^{※2}と一緒に考える専門外来です。

対象となるのは、「メガネをかけていても見えにくい」「視野が狭い」「まぶしくて見えない」などの不便を感じておられ、日常生活で視覚面で支障をきたしている人です。

ロービジョンの人が、日常生活のどんな場面で見ることによって不便を感じているかは、年齢、生活環境などの条件により異なります。外来では、残っている視力や視野を効果的に活用するために、主として、眼科医、視能訓練士による補助具(ルーペなど)の選定および処方、生活指導などの総合的ケアを行っています。

■実際にどのようなことが行われるの？

①まず、現在の見る力(視機能)を調べます。
「新聞、雑誌が読めますか？」などの日常生活動作に関する具体的な内容をお聞きし、患者さんのニーズ調査を行います。

※1 ロービジョン

ロービジョンの定義はまだはっきりしたものがありませんが、世界保健機構(WHO)は、矯正視力で両目視力0.05以上0.3未満と定義としています。しかし、日常生活における眼の動きを考えると、単に視力で考えるのは難しく、日本では、日常生活において視覚的に困難を感じた時がロービジョンケアの始まりとされています。

※2 視能訓練士

視能訓練士は、眼科一般検査(視力・視野・色覚など)をはじめ、斜視や弱視などの視機能にしょうがいのある人へのリハビリテーション指導業務を行っています。市立長浜病院には4人の視能訓練士が在籍し、患者さんの眼のケアのお手伝いをさせていただいています。

②次に、お聞きした内容をもとに、個々に合った補助具(ルーペ、弱視眼鏡、遮光眼鏡、拡大読書器など)を選定します。
③補助具の使い方を練習し、日常生活の動作訓練を行います。



その他、患者さんのご希望に応じて、医療社会相談室と連携し、各種申請手続きの相談や、職業訓練施設などを紹介させていただきます。

ロービジョン外来に関心のある人は、一度眼科外来へご相談ください。



◀器具を点検する医師と視能訓練士

ロービジョン外来

【場 所】 2階眼科外来内

【外来日】 毎週火曜日 14時~16時

※検査には1時間程度かかります。

【予約方法】 当院眼科の診察を受けられた後、医師と相談のうえご予約ください。

☎☎2300(代)

お知らせ

人権ってなあに

人権施策推進課 (☎6560、FAX6013)

挑戦しよう！人権クロスワード

12月4日から10日までは「人権週間」です。クロスワードパズルに挑戦しながら、人権について考えてみませんか？ア～キを順に並べて言葉を作ってください。

<こたえ>

育てよう

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ
1	2	3-ウ		4	5-ア		
12				13			
		14	6		15	7	
	8-イ		16				
17		9-カ					
	18			10		11	
19			キ	20			エ

ヒント

タテのカギ

- 1.待てば〇〇〇の日和あり。
- 2.〇〇同音。
- 3.この時計は父の〇〇〇。
- 4.並んだ並んだ 〇〇、白、黄色～♪
- 5.積もった雪のために薄明るく見えること。
- 6.魚の餌になる微生物。
- 7.人の話を〇〇耳を持つ。
- 8.身をもって経験すること。「〇〇〇〇談」
- 9.煮炊きなど料理を作るために使う器具。
- 10.〇〇は広いな 大きいな♪
- 11.人権の〇〇を咲かそうよ！

ヨコのカギ

- 1.草木の花が咲くこと。「〇〇〇宣言」
- 4.人権イメージキャラクター、人KENまもる君と人KEN〇〇〇ちゃん。
- 12.〇〇〇〇の困難乗り越えて・・・。
- 13.生〇〇、〇〇鍋、〇〇フライ、冬の味覚。
- 14.人の話を聞く〇〇を持つ。〇〇をそばだてる。
- 15.春、夏、〇〇、冬。
- 16.人がら、人品のこと。「あの人は〇〇〇〇者だ。」
- 17.〇〇〇〇おろし、ふろふき〇〇〇〇。
- 18.身体に悪いところがなく、すこやかなこと。
- 19.マントルピース。暖をとるもの。
- 20.大切にしよう、〇〇〇の命。

<応募方法>

ハガキに答え(ア～キに読んだ1つの言葉)と、住所・氏名・年齢および人権についての思いや意見を書き添えて、下記まで送付ください。正解者の中から抽選で記念品を贈呈します。締切りは12月10日(水)<必着>です。
〒526-0031 八幡東町253-4 大津地方法務局長浜支局内「人権クロスワードパズル係」まで

11月12日から25日までは「女性に対する暴力をなくす運動」の期間です

暴力は、決して許されるものではありません。特に、配偶者等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為等は、被害の多くが女性であり、これらの暴力は、女性の人権を著しく侵害するものです。

女性に対する暴力のない社会をつくりましょう。



専用電話をご存じですか？

女性の人権ホットライン

0570-070-810

【受付時間】

◆強化週間〔11月17日(月)～23日(日)〕

●平日：8時30分～19時

●土日：10時～17時

◆上記期間以外 ●平日：8時30分～17時15分

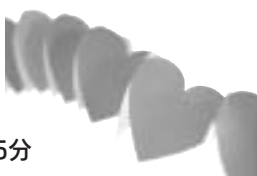
【相談内容】

夫やパートナーからの暴力、職場等におけるセクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為といった女性をめぐる様々な人権問題について

【相談員】

人権擁護委員・法務局職員

問 大津地方法務局人権擁護課(☎077-522-4673)



お知らせ



助けての

小さなサイン 受け止めて

(平成20年度標語最優秀作品)

11月は「児童虐待防止推進月間」です

気づいてください。虐待を受けている子どもはサインを送っています。

虐待等により子どもの生命が奪われるなど重大な事件が後を絶ちません。虐待は、子どもの心身の発達や人格形成に重大な影響を与え、子どもに、虐待を経験した人が親になったときに、虐待を再現する世代間連鎖を引き起こす場合もあり、深刻な影響をもたらします。虐待の防止にご協力ください。



相談窓口・連絡先

●長浜市家庭児童相談室
(市役所子育て支援課内)

☎65-6544

●浅井支所市民福祉課

☎74-4352

●びわ支所市民福祉課

☎72-5253

11・12月は「青少年健全育成強調月間」です

長浜市青少年育成市民会議は、子どもたちの健全な育成のために、地域の社会教育団体等の代表で構成されている団体です。公民館区、学区ごとに地区青少年育成会議があり、それぞれが「愛のパトロール」をはじめとして様々な活動を展開しています。

「明るい家庭づくり」標語の最優秀作品を決定

市内の小中学生や一般の方にご応募いただいた標語1275点の中から、優秀作品を選定しました。

■長浜市長賞

よその子と思わず見よう 声かけよう
梶川 恭子さん(一般)

■長浜市青少年育成市民会議会長賞

みんなをつなげる心のバトン
加納 洋子さん(東中3年)

■長浜市青少年育成市民会議家庭対策部会長賞

だいききよ
かぞくのえがおとわらいごえ
岩井 響稀さん(南郷里小2年)

あいさつは

にこにこえがおで自分から
小西 慶明さん(湯田小3年)

あいさつで

笑顔の花を増やそうよ！
森 莉果子さん(長浜南小6年)

お問合せは、長浜市青少年育成市民会議事務局生涯学習サポート課内 ☎6552へ。



■青少年育成市民のつどい
【とき】 11月16日(日)13時～
【ところ】 びわ文化学習センター(リユートプラザ)
【内容】
●小・中学生による意見発表
●活動事例発表
●基調講演「大人が変われば子どもも変わる」
講師 栗木 剛氏

お知らせ

第33回長浜市芸術文化祭行事

後期（11月上旬～12月上旬）開催行事

※参加費の表記がない行事は入場無料。

第42回長浜日曜画家展

11月7日(金)～9日(日)10時～17時、長浜文化芸術会館で。▶洋画・日本画・デッサン30点前後の展示

第26回松月堂古流いけばな展

11月8日(土)・9日(日)9時～16時、長浜文化芸術会館で。▶生花、現代花、流麗花の作品展

季節・とどめるPART X
西橋利枝押し花教室生徒作品展

11月8日(土)～12月7日(日)10時～19時、浅井図書館で。▶押し花作品展

箏曲演奏会

～故水谷雅楽澄先生を偲んで～
11月9日(日)13時～16時、長浜文化芸術会館で。▶古典から現代曲の演奏、「六段の調」他

第19回長浜アーティストクラブ展

11月11日(火)～16日(日)10時～17時、長浜文化芸術会館で。▶絵画・デザイン・書・彫刻・工芸作品の展示・互評会

MOA美術館湖北児童作品展

11月15日(土)9時～17時、16日(日)9時～15時、長浜文化芸術会館で。▶入選入賞作品の展示

琴・四季の会コンサート
～水辺のRendez-vous～

11月15日(土)14時～16時30分、長浜文化芸術会館で。入場料：1,000円。▶水をテーマにした音楽やいろんなジャンルの曲の演奏会

2008・写真・押し花作品展

11月16日(日)～20日(木)11時～17時、長浜公民館で。▶写真、押し花作品の展示、セミナー開催

岳心流びわこ岳心会
秋季吟唱発表会

11月16日(日)9時30分～16時30分、臨湖で。▶漢詩、和歌等の吟唱

第7回第4日曜写生会会員作品展

11月17日(月)～12月7日(日)10時～18時(最終日は15時まで)、プラザふくらの森で。▶写生画作品の展示

西黒田文芸句歌の会発表会

11月22日(土)8時30分～17時、西黒田公民館で。▶俳句、冠句、情歌の朗読発表会

長浜市子ども美術展覧会

11月22日(土)～30日(日)8時30分～17時、長浜文化芸術会館で。▶絵画・デッサン・彫塑・工芸・工作・硬筆・毛筆作品の展示

黒壁オリジナル花器と
いけばな池坊展

11月22日(土)～24日(月・休)10時～17時、黒壁ガラス館周辺で。▶黒壁オリジナルガラス花器を用いたいけばなを100点展示 ▶いけばなライブ(池坊教授によるデモ)、22日・23日1日2回①11時～②14時～、カフェPact前で ▶いけばな体験教室、22日・23日1日2回①11時30分～②14時30分～、黒壁美術館で。定員各回10人。体験料500円。

第25回そ乃香会

11月23日(日)11時～17時、長浜文化芸術会館で。▶日本舞踊の発表会

第50回長浜文学祭

11月24日(月・休)13時～16時、長浜市民交流センターで。投稿料：1,000円。▶文芸作品優秀作品の発表・表彰・記念講演会

史蹟探訪俳句会

11月24日(月・休)10時～16時、長浜曳山博物館で。▶昭和初期の長浜祭の面影を探訪し、俳句で写真

人形浄瑠璃富田人形秋公演

11月30日(日)13時から、リュートプラザで。入場料：1,000円。▶人形浄瑠璃「東海道中膝栗毛」他の公演

フォークソングの集い

11月30日(日)13時30分～15時30分、長浜公民館で。入場料：800円。▶フォークソングを参加者で合唱

焼かない陶芸、おやじの粘土
作品展and二胡の調べ

12月4日(木)～8日(月)10時～19時(最終日は17時まで)、長浜文化芸術会館で。▶粘土教室生徒の作品展、二胡の演奏、アロマテラピー

輝らりキッズ第19回定期演奏会

12月7日(日)14時～16時、長浜文化芸術会館で。入場料：高校生以上500円、中学生以下200円。▶1年間の成果発表、「11ぴきのネコ」他

長浜だから舞夢ろまん

12月7日(日)13時30分～15時30分、養蚕の館で。▶文化庁委嘱伝統文化剣舞歌謡舞子ども教室生徒などの成果発表、「篤姫」他

浅井音楽祭

12月7日(日)13時30分～16時、浅井文化ホールで。▶参加団体による芸能発表・演奏会

長浜市芸術文化祭のお問合せは、生涯学習スポーツ課(☎6552)へ。

生涯学習大学講座
「長浜学」
第5回受講生追加募集11月24日(月・休)
14時～15時30分
※開場は13時30分

会場：長浜文化芸術会館

▼講演 「おもしろい日本語」
講師 金田一秀穂氏
日本語学の権威である祖父・金田一京助氏、父・春彦氏に続く日本語研究の第一人者。「世界一受けた授業」をはじめ、様々なメディアでもおなじみのように、日本語についてわかりやすく、楽しくお話しいただきます。

▼申込み 電話で生涯学習スポーツ課(☎6552)へお申込みください
▼締切り 11月17日(月)

▼金田一秀穂氏
日本語学の権威である祖父・金田一京助氏、父・春彦氏に続く日本語研究の第一人者。「世界一受けた授業」をはじめ、様々なメディアでもおなじみのように、日本語についてわかりやすく、楽しくお話しいただきます。

パソコン講習
受講生募集(第8期)

【対象】 18歳以上で市内に在住または通勤・通学されている人

【講習時間】 各コース12時間※年賀状コースは6時間(2時間×6回、午後は3時間×4回)

【講習料】 各コース3,000円(テキスト代別)※年賀状コースは2,000円(テキスト代別)

【募集開始】 11月11日(火)から ※先着順

【申込方法】 電話申込み

【定員】 各9人(市民交流センターは15人)※定員に満たない場合は、開催しない場合があります。

【講師】 若林さん、前田さん、清水さん(NPO法人IT育成会「あすな」)

《ボランティアスタッフ募集中》

お申込み・お問合せは、生涯学習スポーツ課(☎6552)へ。

お知らせ

くらし
よみがえる
いきかえる
みちがえる

そば打ち道場

公民館事業かえる講座



とき・ところ
①11月30日(日)
9時30分～12時30分
上草野公民館(野瀬町)

②12月7日(日)
9時30分～12時30分
びわ公民館(難波町)

▼申込み 参加を希望される会場に電話でお申込みください。
・上草野公民館(☎60001)
・びわ公民館(☎4300)

▼対象 市内在住、在勤の人

▼定員 各日40人

※先着順

▼参加費 600円

※当日徴収

▼持ち物 エプロン、三角巾、マスク、タオル ※当日は汚れてもよい服装でお越しください。

会 場	時間帯	月	日
はじめてのパソコン：基本操作、マウス操作、ファイル管理など			
六荘公民館	午後	12月	3(水),10(水),17(水),24(水)
市民交流センター	午後		4(木),11(木),18(木),25(木)
はじめてのワードコース：簡単な文書作成と編集など			
南郷里公民館	午後	12月	5(金),12(金),19(金),24(水)
六荘公民館	午後		4(木),11(木),18(木),25(木)
はじめてのエクセルコース：基本操作、表・グラフ作成など			
六荘公民館	午後	12月	5(金),12(金),16(火),19(金)
市民交流センター	午前		2(火),4(木),9(火),11(木),18(木),23(火)
ワード活用コース：段組、スタイルの設定など			
神照公民館	午前	12月	3(水),4(木),10(水),11(木),17(水),18(木)
エクセル活用コース：関数活用など			
市民交流センター	午後	12月	2(火),9(火),16(火),23(火)
市民交流センター	夜間		1(月),4(木),8(月),11(木),15(月),18(木)
ホームページコース：ホームページ作成の初歩			
六荘公民館	午前	12月	3(水),4(木),10(水),11(木),17(水),18(木)
年賀状作成コース：年賀状の作成の初歩を紹介			
南郷里公民館	午前	12月	2(火),9(火),16(火)
※時間帯：午前(10～12時)、午後(13時30分～16時30分)、夜間(19～21時)			

ビバ!ブラジル! ～ブラジルのお菓子を作り、クリスマスのお話を聞いてみませんか?～

【とき】 12月20日(土)9時30分～13時30分

【ところ】 長浜市民交流センター

【参加費】 500円(材料費)

【内容】 ブラジルの代表的なお菓子作りと講師によるブラジル文化紹介。

【講師】 小野竜子ロザリーナ(長浜市国際交流員)

【定員】 16人(申込多数の場合抽選)

【申込み】 電話で下記まで

※締切り11月28日(金)

市民協働課(☎8711)



information



催し・行事

文化財保護強調月間特別展示

【と き】11月1日(土)～26日(水)
10時～19時(火曜休)
【ところ】長浜図書館(朝日町)
【内 容】横山城遺跡で見つかった武器や鎧の一部など遺物11点と写真パネル、小学生の文化財保護啓発ポスター
問 教育委員会文化財保護センター(☎④0395)

きゃんせ土曜日 ー毎月第2土曜日開催ー

【と き】11月8日(土) 11時～13時
【ところ】長浜地方卸売市場 関連店舗棟(田村町)
【内 容】
・半額セール(11時30分から)
・福引抽選会(空クジなし)
・うどん、そば、焼き鳥 あり
問 長浜地方卸売市場関連店舗活性化実行委員会(☎③4000)

滋賀県調理短大料理作品展示会

「Enjoy」～さらにドラマを～
【と き】11月12日(水) 10時～16時
【ところ】滋賀県調理短期大学校(分木町)
【内 容】学生、卒業生、講師の料理作品を約70点展示、特製カレーの販売(11時～13時30分、1皿300円)、調理デモンストレーション
問 滋賀県調理短期大学校(☎②0795)

直どり野菜の収穫体験

【と き】11月16日(日) 8時～11時
※小雨決行、雨天中止
【ところ】長浜地方卸売市場 北側野菜畑(高橋町地先)
【内 容】大根、キャベツ、さといも、ブロッコリー、スイートコーンの収穫体験
【参加費】無料(収穫した野菜は実費)
【その他】車は市場北側駐車場に
問 長浜地方卸売市場(☎③4000)



食育・料理講習会

幼児食を作りましょう!
【と き】11月15日(土)10時～13時
【ところ】六角館(勝町)
【対 象】就学前の子どもと保護者
【定 員】20組(先着順)
【参加料】一人200円(3歳未満無料)
【申込方法】11月12日(水)までに下記までお申し込みください。
申 ひよこ乳児保育園(☎③8892、〒526-0845小堀町66-1)

がん診療連携拠点病院フォーラム

【と き】11月20日(木)13時30分～17時
【ところ】県立男女共同参画センター(近江八幡市)
【内 容】講演「がん診療連携拠点病院に求められるもの」(講師：静岡がんセンター総長 山口建氏)、パネルディスカッション
【定 員】500人(先着順)
【参加費】無料
【申込方法】氏名、電話番号を電話、FAX、メールで下記まで連絡
申 滋賀県立成人病センター経営企画室(☎077-582-5031、FAX077-582-5931、Eメール:gankouen@pref.shiga.lg.jp)

エンジョイススポーツデー

【と き】11月20日(木)、27日(木)
19時30分～21時
【ところ】市民体育館(宮司町)
【内 容】ビーチボールなどニュースポーツ
【参加費】100円(当日徴収)
問 生涯学習スポーツ課(☎⑤8787)

たんぼぼクリスマス会

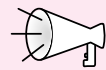
【と き】いずれも10時～11時30分
◆12月2日(火)：長浜北小・神照小学校区・びわ地域
◆12月4日(木)：長浜南小・南郷里小・北郷里小学校区・浅井地域
◆12月5日(金)：長浜小学校区
【ところ】市民交流センター(地福寺町)
【対 象】市内在住の乳幼児(1歳以上)と保護者
【内 容】サンタさんと遊ぼう! など
【定 員】300組(先着順)
【参加費】子ども・大人各100円

【申込期間】11月10日(月)～18日(火)
【申込方法】はがきまたは直接窓口で参加者の住所、氏名子どもの年齢、電話番号、学区名をお知らせください。

申 長浜地域子育て支援センター(☎②3712、〒526-0036地福寺町4-36)

三世代交流事業

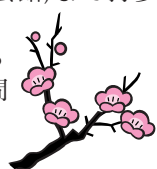
かわもと ゆう トーク・ライブ
【と き】12月6日(土)
13時45分～15時30分
【ところ】市民交流センター(地福寺町)
【対 象】市内在住の小学生～高齢者とその家族
【定 員】150人(先着順)
【参加費】一人100円(当日集金)
【申込方法】11月6日(木)午前9時から窓口またはTEL・FAXで受付
申 長浜市児童文化センター(☎⑤6433、FAX④3900)



募 集

あなたの自慢の盆梅を募集

長浜盆梅展「市民出品コーナー」に自慢の盆梅を展示してみませんか。
【出品資格】自分で管理されている盆梅で、会場(慶雲館)まで持参できること
【展示期間】1月10日から3月10日の間で開花時期に合わせて
【募集鉢数】5鉢(多数の場合は審査)
【締切り】11月28日(金)
※出品ご希望の方は、下記までご連絡ください。
申 観光振興課(☎⑤6521)



講 座

ミシガン日本センター英語講座

【と き】1月5日(月)～3月19日(木)の平日で集中コースのほか、テーマ別・夜間コースあり
【ところ】ミシガン日本センター(彦根市松原町)
【受講料】44,000円～265,000円

【締切り】12月12日(金)
申 ミシガン日本センター(☎0749-26-3400 http://www.jcmu.net)



相 談

女性の悩み相談(要予約)

【と き】11月15日(土)13～16時
12月2日(火)10～14時
【ところ】長浜市民交流センター相談室
【相談員】下地久美子さん(臨床心理士)
【料 金】無料
※託児(要予約)あり、秘密厳守
申 平日：人権施策推進課(☎⑤6556 専用ダイヤル)
土日：長浜市民交流センター(☎⑤3366)

巡回法律相談会(要予約)

【と き】11月21日(金)13時～16時(一人30分、事前予約制)
【ところ】余呉町老人福祉センター
【申込期間】11月20日(木)17時まで(定員となり次第終了)
※収入等の資力要件あり
申 法テラス滋賀(☎050-3383-5454)

結婚相談

【長浜地域】11月27日(木)18時～20時
長浜市民交流センター
【浅井地域】11月28日(金)18時～20時
浅井支所
【びわ地域】11月28日(金)19時半～21時
びわ公民館
問 農林水産課(☎⑤6522)

無料健康相談(要予約)

厚生労働省の委託を受け、50人未満の事業場で働く人の健康相談を無料で行っています。
【相談内容】
①一般健康相談(健康診断結果に基づく健康管理)
毎月第2木曜日14時～16時

②長時間労働者への面接指導(脳・心臓疾患等の発症予防)
毎月第1木曜日14時～16時
③メンタルヘルス相談
毎月第2木曜日10時～12時
【相談医】
①・②：湖北医師会産業医
③：速水正博医師(アップルクリニック)
【ところ】
①・②：湖北医師会(内保町480-3)
③：アップルクリニック(南呉服町9-2)
申 湖北地域産業保健センター(☎④0238)アップルクリニック(☎③0355)

労働に関する相談

労働者と事業主との間の紛争など、労働に関する相談を次のところで行っています。

彦根総合労働相談コーナー

(☎0749-22-0654、彦根市西今町58-3彦根労働基準監督署内)

そのほか、滋賀労働局長の助言・指導、紛争調整委員会によるあっせん制度もありますので、詳しくは下記まで。
問 滋賀労働局総務部企画室(☎077-522-6648)

最低賃金改正のお知らせ 滋賀県最低賃金は

1時間**691**円です
(平成20年10月18日改正)

問 滋賀労働局賃金室(☎077-522-6654)
彦根労働基準監督署(☎0749-22-0654)

いきいき市民活動

落語会《まち役寄席》

まちに もっと元気と笑顔を!
【と き】11月23日(日)18時30分～
【ところ】曳山博物館(元浜町)
【出 演】桂さん都、林家竹丸、桂文鹿、桂文也
【入場料】1,300円(当日1,500円)
問 まちづくり役場(☎⑤3339)

information

文化庁委嘱 伝統文化子ども教室

ー伝統文化剣舞・歌謡舞ー
【と き】12月6日(土)～平成21年2月22日(日)、全10回
【ところ】六角館、養蚕の館他
【対 象】小学1年生～中学3年生
【定 員】20人程度
【受講料】無料
申 西邑(☎②2441)

◆バザー情報◆

ふれあい親子バザー 北幼まつり2008
【と き】11月22日(土)11時～
【ところ】長浜北幼稚園(三ツ矢元町)
問 長浜北幼稚園(☎②0861)

不用品交換情報 (10月10日現在)

あげます (無料)
○電動ベッド○ダブルベッド
○介護用オムツ○全自動洗濯機
○石油ファンヒーター○食器乾燥機
○子ども用ブランコ
ください (無料)
○男の子用自転車○地球儀○冷蔵庫
○テレビ○ノート型パソコン
○電動もちつき器○ホームこたつ
ゆずります (有料)
○ジャンボぬいぐるみ
○オートバイ用ヘルメット
○石油ストーブ○ホームこたつ
○マッサージ機
ゆずってください (有料)
○浴室用シャワーヘッド○冷蔵庫
○二槽式洗濯機○ベビーベッド
○卓球台
問 平 日：環境保全課(☎⑤6513)
土・日・祝：エコハウス(☎③4060)
※現物は保管していません

納付カレンダー

市県民税 第3期
国民健康保険料 第6期
介護保険料 第6期

「火のしまっ 君がしなくて 誰がする」
11月9日から秋の火災予防運動が始まります!

近江孤蓬庵の紅葉

近江孤蓬庵（上野町）は、茶道、造園、歌などに秀でた江戸時代の芸術家として知られる小堀遠州の菩提を弔う寺として1653年に建立された、小堀家の菩提寺です。枯山水と池泉回遊式のみことな庭園は、県指定の名勝になっていて、びわ湖を模した池もあります。四季折々に風情がありますが、とくに真っ赤に染まる紅葉はみごとで、全国から観光客が訪れる名園です。この秋は、参道が改修され、一段と風情が出てきた近江孤蓬庵に、ぜひ一度足を運ばれてはいかがでしょうか。



Smile



三上 未来 さん（三ツ矢町）

平成16年11月生まれ

すっかりお姉ちゃんになった未来ちゃんお誕生日おめでとう！これからも幼稚園でお友達といっぱい遊んでね。



永田 大耀 くん（小堀町）

平成19年1月生まれ

ひだまりのおばあちゃん、おじいちゃん、おねえちゃん達にかこまれて、僕は毎日、ドキドキ、ワクワクがいっぱいです。

☑まちの人口	平成20年10月1日現在	人口 85,305人	男 41,764人	女 43,541人	世帯数 30,547世帯
	9月中の異動	転入 280人	転出 358人	出生 77人	死亡 57人 婚姻 30件

広報「きゃんせ長浜」11月号 平成20年11月1日発行 編集・発行 長浜市企画部企画調整課

〒526-8501 滋賀県長浜市高田町12-34 TEL0749-62-4111 FAX0749-63-4111

<http://www.city.nagahama.shiga.jp> e-mail:kouhou@city.nagahama.lg.jp



大豆油インキ100%で印刷しています。

再生紙を使用しています